

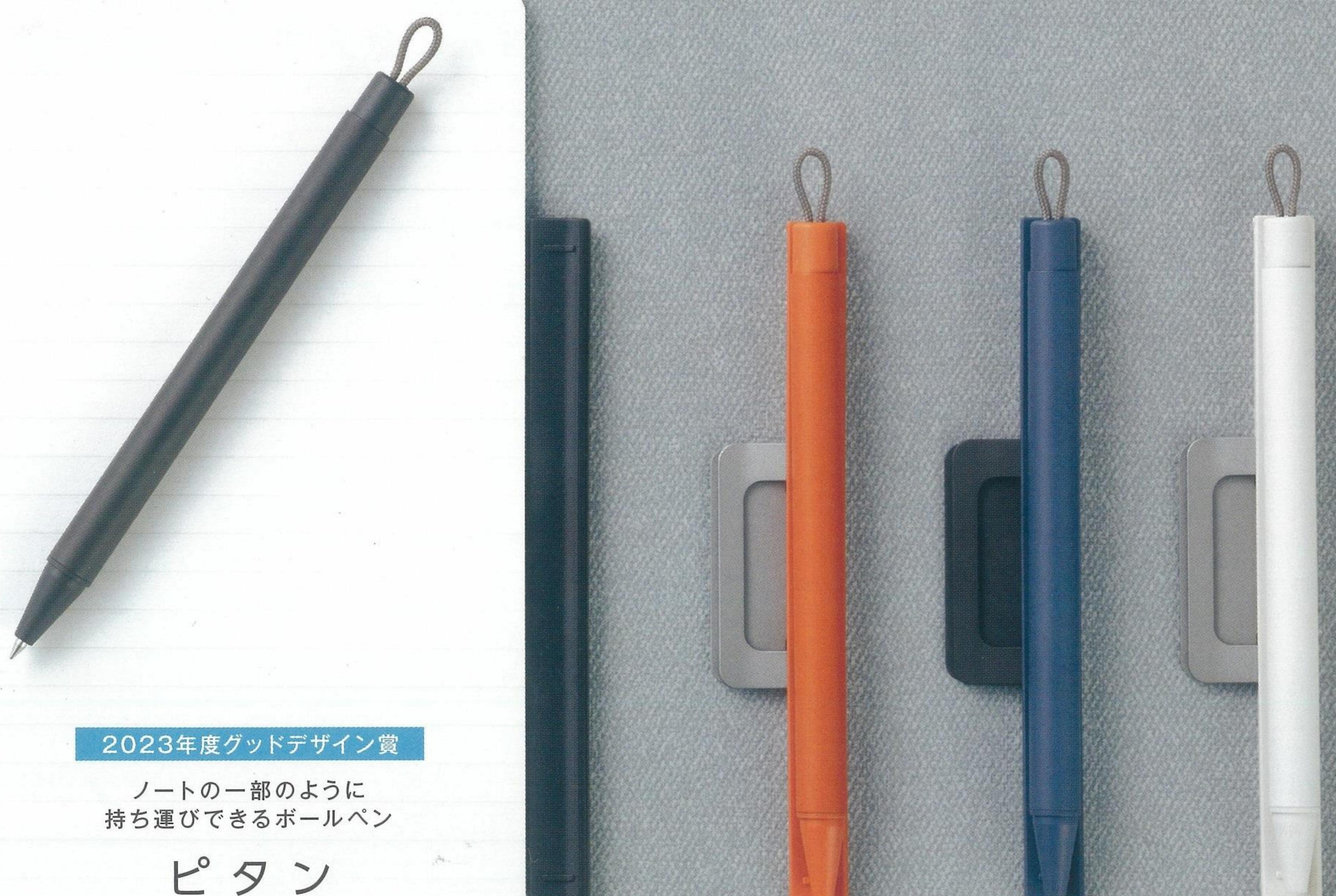
時代と対話する1時間

ワン・アワー

onehour

東洋経済新報社 × 現場のリアル
ブランドスタジオ

中小企業が得意としてきた分野
サステナビリティ経営に
取り組むことが
新規事業のチャンスを生み出す



2023年度グッドデザイン賞

ノートの一部のように
持ち運びできるボールペン

ピタン

ゼブラ株式会社

DAIDO 大同生命

2024 2

onehour

ワン・アワー 2月号

contents

P1 注目の企業に学ぶ

山八歯材工業株式会社

世界の“人工歯市場”で支持される、
「YAMAHACHI」の名を守るために。

P5 経済ジャーナリスト川島睦保が切り込む 現場のリアル

株式会社横田アソシエイツ代表取締役、
慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授 横田浩一
Interview

中小企業が得意としてきた分野
サステナビリティ経営に取り組むことが
新規事業のチャンスを生み出す

P8 Essence 論語と算盤

Vol.43

「平凡な常識人こそ大事」

欠陥のある英雄ではなく、
健全な常識人が社会を支える。

P9 健康経営の実学

清松総合鐵工株式会社

“朝礼改革”によって企業風土を一変。
健康経営にも活きるエンゲージメントとは…。

P11 カルテの余白

ホリスティキュアメディカルクリニック 院長 登坂正子

健幸(健やかで幸せな人生)の秘訣は
ミネラルバランスを整えること。

P13 美味伝心

「ナッツとドライフルーツの贅沢ブラウニー」

色とりどりの贅沢素材が彩る、
高級感あふれるブラウニー。

P14 cover story 匠の結晶

「ピタン」

ゼブラ株式会社

ノートの一部のように
持ち運びできるボールペン。



人は“幸せになるため”に生きている。

清松総合鐵工株式会社(大分県宇佐市)

こう
鋼構造物の“骨格工事”を総合的に請け負うHグレード・ファブリケーター、清松総合鐵工株式会社。ユニークな施策の数々と、その経営手腕が業界内外から注目される清松芳夫社長にお話を伺いました。



高層ビルや大型施設、倉庫、工場などの鋼構造物の“骨格”となる柱や梁を加工し、建築現場での施工まで行なうファブリケーター（鉄骨工事の加工業者・通称ファブ）。それが清松総合鐵工株式会社です。

「ファブにはグレードがあり、それにようて受注できる案件の規模が変わります。当社が取得したHグレード認定＊はハーダルが高く、県下でも数社しかありません」

「鉄骨の加工技術、施工技術ともに高く評価されている清松総合鐵工ですが、ある意味、それ以上に清松社長の経営手腕が注目され、就職活動中の学生20万人が投票する「リーダーズ・アワード」の『憧れる経営者』に3年連続で選出されています。」

「経営手腕と呼べるほどのものは分かりませんが、当社の毎日の朝礼がユニークだと、国内のメディアだけでなく『ニューヨーク・タイムズ』にも取り上げられました。それで『見学したい』というお声をいただくようになり、現在は毎月一度、月初の朝礼を希望されています。そこで『見学したい』といふ声をいただくようになり、現

に生きている』と考えていました。しかし、ある日、そこに『自分が幸せになればいい』という思考が紐づいていることに気づいたのです。そこで改めて『幸せになる』とはどういうことか、とこどんと考え抜きました。結論は『周囲の人たちが全員笑顔になつたら、自分が幸せになる可能性も高まる』といふことです。そして『ぶつかりあう従業員を笑いあうように変えられたら、自分は幸せになる』と考えるに至り、そのために『変革する』と覚悟を決めたのです。とはいっても、今まで『自分の幸せ』しか考えていなかつたのですから試行錯誤の連続です。例えば、私は従業員の名前すらうろ覚えで、ましてやその家庭のことなど何も分かつていませんでした。それで『全員を笑顔にしよう』だなんて、話になりませんよね。そこでは、形式的に行なつていた朝礼の時間を『コミュニケーションの時間』に改革しようと、書籍から動画サイトまで『参考になりそうだ』と思えるもの全てに目を通し、『効果がありそうだ』と感じたことを全てを試しました。従業員から拒絶されたり、私自身が意義を見いだりますが、結果的に残った施策が先ほどの“二つの運動”なのです

“手応え”を感じるまでに約3年。その間、清松社長は「何をしたら皆が笑

顔になるのだろう」「どうやって笑顔にさせよう」と、そればかりをひたすら考えたといいます。

「笑顔にすることが、完全に経営のテーマになつていただけますね。けれどそれは間違いではありませんでした。歯車が噛み合つて回り出すと一気に加速し、様々な波及効果を生み出してくれたからです。売り上げを2倍以上にする目標を3年で達成できたこともそうですが、健康経営も“朝礼改革”をする前の当社であれば、今は違う向き合い方になつていたと思います。いうなれば“事務的な作業”に終始して、本質的な“従業員を幸せにするために”という意識が希薄になつていたかもしれません

その意識に変化が生じたのは「自身の信条を突き詰めて考え方直したからだ」といいます。

「私は、昔から『人は幸せになるため

れる方々に公開しています」

毎回、業界問わず数十人の見学者が参加する“月初の朝礼”では、清松社長の訓話のほか、日々の朝礼と同じ“三つの運動”が行なわれます。

「朝礼前に私が部屋の入り口に立ち、全員とハイタッチする『ハイタッチ運動』。ミスやヒヤリハットの事例を報告した従業員に、全員でありがとうと“学びのお礼”を言う『ええじゃないか運動』。当番制で他者の良いところを発表し、全員で讃える『イイネ運動』。この三つが朝礼の柱です」

印象的なのは、皆が嬉々として取り組んでいること。健康経営において見落とされがちな「コミュニケーションの促進に向けた取り組み」が、見事に具現化されているのです。

「今では当社の自慢の一つとして『従業員の仲が良い』と胸を張りますが、以前は真逆でした。良くいえば職人気質なのでしようが、従業員同士が妙なところで張り合つて、現場で度々激しい口論が起つっていました。私はといふと『社長たるもの簡単に笑顔を見せるものではない。眉間にしわを寄せて厳しい顔をしているほうがいい』といふ気持ちで、職人たちに負けじと声を荒らげる」とあります。

その意識に変化が生じたのは「自身の信条を突き詰めて考え方直したからだ」といいます。

「私は、昔から『人は幸せになるため

■ 大同生命は、健康経営に取り組む中小企業を応援します！

第二回「DAIDO KENCO AWARD」は2023年12月22日をもって、応募受付を終了いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました！

表彰企業の発表は2024年3月を予定しています。また、表彰された企業さまの取組事例は今後特設サイトにて公表いたします。お楽しみに！

■特設サイト

2022年度に表彰された企業さまの取組事例を特設サイトにて紹介していますので、ぜひご覧ください！こちらのWebサイトからご覧いただけます。

<https://daido-kenco-award.jp>



*「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

photo : Seitaro Ikeda

健康経営に取り組む企業を表彰する「DAIDO KENCO AWARD 2023」で、表彰された企業さまにインタビューしました！



企業 DATA

所在地 大分県宇佐市大字尾永井 470 番地の 1
代表者 代表取締役社長 清松芳夫
設立 1967年(昭和42年)
事業内容 鋼構造物の設計および施工、製缶、諸機械類の据付解体並びに運搬、総合建設業

Web サイト <http://www.kiss.ne.jp/>



清松芳夫社長と専務取締役の容子夫人。

*鉄骨製作工場が適正な品質の建築鉄骨を生産・供給するために必要な品質管理能力と技術力を保有していることを証明する工場認定制度。国土交通大臣の認可を得た外部評価機関が厳正な評価を行ない、建設規模と使用鋼材の適用範囲に応じた5グレード(上からS,H,M,R,J)で認定される。